

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212V102	地域生活支援方法論 I ( Community Health Nursing Practice I )	専門教育科目 地域看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	1	後期	火・4	金崎理子・後藤奈穂・箕河原靖子 内線 : 5095/5092/5094/ E-mail : kanezakiyako@oita-u.ac.jp

#### 【授業の概要・到達目標】

地域を単位とした看護の対象である、個人・家族・集団・地域の特性を理解し、様々な健康レベルの人々を支えるケアの専門職としての看護活動を理解する。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 看護活動で出会う個人・家族・集団・地域の特性を説明する。	○						
2. 人々が自らの健康を守るための行動 (保健行動、支えあい、ケア行動) について、学生自らの体験や他者の体験と関連付けて説明する。	○						
3. 公衆衛生看護活動の基盤となる家庭訪問・健康相談について説明する。	○						

#### 【授業の内容】

1	オリエンテーション/地区活動における対象の捉え方—個人・家族
2	地区活動における対象の捉え方—集団・地域
3	人々の健康を守る行動とは —保健行動・ケア行動・支え合い—
4～6	家庭訪問
7・8	健康相談

#### 【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A: 知識の定着・確認	○	講義終了時のカード記入	<ul style="list-style-type: none"> <li>あらゆる単位を対象とした看護活動において、対象を捉える手立てとなる理論や考え方を習得する</li> <li>事例をもとに家庭訪問や健康相談の実際について理解を深める</li> </ul>
B: 意見の表現・交換	○	発問、グループディスカッション	
C: 応用志向	○	グループによる事例検討	
D: 知識の活用・創造			

#### 【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	教科書等を用い次回の学習内容について予習し、概要と疑問点を予習シートに整理し講義に臨む (8h)
事後学修	配布資料・教科書等を用い授業で学習した内容を復習する (4h)

#### 【教科書】

宮崎美砂子他編：最新公衆衛生看護学 第3版 総論 2024年版. 日本看護協会出版会, 2024

#### 【参考書】

#### 【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標 1	目標 2
予習シートの取り組み状況	20%	○	○
期末試験	80%	○	

#### 【注意事項】

#### 【備考】

教員の実務経験の有無	○
------------	---

教員の実務経験	保健師（市町村、産業） 看護師（病院）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	人々が自らの健康を守る行動について実務経験を交えて理解しやすいよう講義する。	
授業形態	面接講義	